

神奈川支部 第57回 JOY-HIKE (9月30日) 報告

☆☆多摩川スカイブリッジ～羽田エアポートガーデン～川崎浮世絵ギャラリー☆☆

観測史上最多の猛暑日が続いた今年の夏は、9月後半になっても衰えを見せていなかった。前日の天気予報は、曇り時々小雨であったが、念のため傘を携帯することを参加者に周知し決行することにした。

明けて9月30日・10時、京急川崎駅・大師線ホームに久々の大人数20名が元気な姿で集合し、小島新田駅に移動。小島新田駅前広場でJOY-HIKE 神崎会長より開会挨拶の後、幹事の神田より当日のコースを説明する頃、曇天の空からポツポツと落ちる滴をものともせず第一歩を踏み出した。歩くこと約10分、多摩川土手に出ると一気に眺望が開け、日も差し始め雨の心配は無くなり一転して薄曇りの絶好のハイキング日和になった。

今回のJOY-HIKEの醍醐味は、川崎市側の多摩川土手遊歩道からの羽田空港の遠望、多摩川スカイブリッジを渡る途中の360度のパノラマ、生憎曇り空で富士山は見られなかったものの、遠くは東京タワー、東京スカイツリーを、そして眼前には羽田空港に離着陸する飛行機を仰ぎ見ること、そしてスカイブリッジを渡り終えた先の第三ターミナルに直結する羽田エアポートガーデンで異国情緒を味わいながらの昼食、であった。

羽田エアポートガーデンは住友不動産がホテルを中心に商業施設を羽田第三ターミナルに隣接して開発、2023年1月31日に全面開業された。それに先立ち、羽田空港と川崎市臨海部を繋ぐ多摩川スカイブリッジが2022年3月12日に開通した。

多摩川スカイブリッジは全長675m、車道・自転車道・歩道が完全に分かれていて、写真撮影・会話を楽しみながら安心して渡れる。橋を渡った東京側はエアポートガーデンに直結しパスポート無しで入場できる。(当たり前でしょ、未だ日本国だから！)

エアポートガーデンには日本各地の特産品を集めたお店、レストラン、フードコートが立ち並び一般客、海外旅行者で賑わっている。昼食は20人が一堂に入れる店があるか心配されたが、うまい具合にカレー派と日本食派に分かれた。

昼食後は、折角の空港なので普段は見られない飛行機の離着陸をもっと間近に見ようと展望台上り皆童心に返り楽しんだ。20人中ただ一人の5歳のお嬢ちゃん(岩岡さん)は双眼鏡を覗き込み興奮した面持ちが微笑ましかった。

展望デッキを後にし、次の目的地である川崎浮世絵ギャラリーに向け羽田空港に直結している京急エアポート急行に乗り込んだのは14時を過ぎる頃だった。

羽田空港から川崎駅までは約15分。川崎駅から徒歩3分で浮世絵ギャラリーに到着。この浮世絵ギャラリーは、斎藤文夫さんという個人のコレクションで川崎市とコラボしての展示である。各自入館料500円を払って、じっくり鑑賞していた。

そして最後の行程、近くの養老乃瀧での反省会に入ったのは15時半頃であった。汗を流した後でもあり、JOY-HIKEを満喫したこともあり、その盛り上がり様は毎度のことながら異常なほどであった。因みにこの日の歩数は15,500歩であった。

JOY-HIKEの楽しみは、太陽の光を浴び新鮮な空気を吸い仲間と歓談しながら歩き、そして反省会という名目で一杯やることであるが、この度のJOY-HIKEではもう一つの大きな収穫があった。その収穫とは、母校の匂いがまだ新鮮なH29、30年卒の若手二人が関東支部から参加してくれたことである。反省会ではこの若手二人が抱く同窓会の在り方や、現状の同窓会に対する要望などを話して貰い、古株同窓会員との間で忌憚のない意見交換ができた。

この若手同窓会会員がJOY-HIKEに参加してくれて、現存する各地区同窓会相互の、そして母校との橋渡しをしてくれる兆しを創ってくれた。第57回JOY-HIKEは、奇しくも「スカイブリッジ」となった。

神奈川支部役員 神田若義 (S46 経済卒)

